# 工事内容確認チェックシート（竣工）
# （バリアフリー性：等級3対応）

**竣工現場検査時**

現場検査申請書付表1－3－1

| 一戸建て等（一般用） |
|---|
| フラット35S |
| 各工法共通 |

工事内容確認チェックシート（竣工）（バリアフリー性：等級3対応）

私は、竣工現場検査の申請にあたり、以下の基準について適合していることを確認しました。

| 基準の概要 | 確認項目（等級3） | | | 確認内容（等級3） | 現場確認欄 ☑ | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 評価方法基準の第5の9－1に定める高齢者等配慮対策等級の等級3、4又は5に適合していること | 部屋の配置等 | 特定寝室を同一階に配置すべき寝室 | | ■ 便所 | ■ | |
| | 段差 | 段差（日常生活空間内） | 玄関出入口 | ■ くつずりと玄関外側の高低差20mm以下であること | ■ | |
| | | | | ■ くつずりと玄関土間の高低差5mm以下であること | ■ | |
| | | | 浴室出入口 | ■ 20mm以下の単純段差であること | ■ | |
| | | | | □ 浴室内外の高低差120mm以下でまたぎ段差180mm以下 ＋ 手すり設置 | | |
| | | | バルコニー出入口（非接地住宅のみ） | ■ 180mm（踏み段(※1)を設ける場合は360mm）以下の単純段差 | ■ | |
| | | | | □ 250mm以下の単純段差＋手すり（設置準備含む） | | |
| | | | | □ 180mm（踏み段(※1)を設ける場合は屋内側で180mm、屋外側で360mm）以下のまたぎ段差＋手すり（設置準備含む） | | |
| | | | 居室の部分の床とその他の床(※2) | ■ 300mm以上450mm以下であること | ■ | |
| | | | その他の床 | ■ 勝手口と上がりかまち以外は段差はないこと（5mm以内の段差が生じるものを含む） | ■ | |
| | | 日常生活空間外の段 | | ■ 日常生活空間外の床(※3)の段差はないこと（5mm以内の段差が生じるものを含む） | ■ | |
| | 階段 | 階段がない場合 | | □ － | □ | |
| | | 階段がある場合 | 勾配等 | ■ 階段は所定の均一な勾配であること（勾配22／21以下、550mm≦踏面＋2×蹴上げ≦650mm） | ■ | |
| | | | | ■ 踏面寸法195mm以上であること | ■ | |
| | | | 蹴込み | ■ 蹴込み寸法は30mm以下であること | ■ | |
| | | | 回り階段の形式 | □ 勾配等の基準に該当していること（踏面の狭い方から300mmの位置で規定寸法を確保していること） | ■ | |
| | | | | ■ 回り階段の部分が、所定の形式となっていること | | |
| | | ホームエレベーターが設置されている場合 | | □ － | □ | |
| | 手すり | 階段 | | ■ 少なくとも片側に設置されていること（段鼻からの高さ700mm～900mm） | ■ | |
| | | | | □ 両側に設置されていること（段鼻からの高さ700mm～900mm）（勾配が45度超の場合） | | |
| | | | | □ 階段無し又はホームエレベーター設置 | | |
| | | 便所 | | ■ 設置（立ち座りのためのもの） | ■ | |
| | | 浴室 | | ■ 設置（浴槽出入りのためのもの） | ■ | |
| | | 玄関 | | ■ 設置（上がりかまち部の昇降及び靴等の着脱のためのもの） | ■ | |
| | | | | □ 設置準備（上がりかまち部の昇降及び靴等の着脱のためのもの） | | |
| | | 脱衣室 | | □ 設置（衣服の着脱のためのもの） | ■ | |
| | | | | ■ 設置準備（衣服の着脱のためのもの） | | |
| | | 転落防止手すり・手すり子 | 階段及び廊下 | ■ 腰壁、手すり高さ、手すり子の内法寸法が所定の寸法であること | ■ | |
| | | | 2階以上の窓 | ■ 窓台、手すり高さ、手すり子の内法寸法が所定の寸法であること | ■ | |
| | | | バルコニー | ■ 腰壁、手すり高さ、手すり子の内法寸法が所定の寸法であること | ■ | |
| | 通路及び出入口の幅員（日常生活空間） | 通路 | | ■ 有効幅員780mm（柱等の箇所は750mm）以上であること | ■ | |
| | | 出入口 | 玄関 | ■ 750mm以上確保されていること | ■ | |
| | | | 浴室 | ■ 600mm以上確保されていること | ■ | |
| | | | 出入口 | ■ 750mm以上確保されていること | ■ | |
| | | | その他 | □ 軽微な改造により750mm以上確保が可能であること | | |
| | 寝室、浴室及び便所（日常生活空間） | 浴室の広さ | 内法短辺 | ■ 1,300mm以上であること | ■ | |
| | | | 内法広さ | ■ 2m²以上であること | ■ | |
| | | 便所 | 内法長辺 | □ 1,300mm以上であること | ■ | |
| | | | | ■ 便器の前方又は側方との距離が500mm以上（ドアの解放又は軽微な改造を含む）であること | | |
| | | | | □ 軽微な改造により1,300mm以上確保が可能であること | | |
| | | | 便器 | ■ 腰掛け式であること | ■ | |
| | | 特定寝室 | | ■ 内法面積9m²以上であること | ■ | |

注1） フラット35S（特に優良な住宅基準（バリアフリー性））をご利用の場合は、本チェックシートではなく、「工事内容確認チェックシート（竣工）（バリアフリー性：等級4対応）」を利用してください。

注2） 申請者、工事監理者又は工事施工者は、太枠で囲われたところをチェック又は記入してください。

※1） 踏み段の構造要件

| 設置部 | 段数 | 高さmm | 奥行mm | 幅mm | その他 |
|---|---|---|---|---|---|
| バルコニー出入口 | 1 | 180以下 | 300以上 | 600以上 | バルコニー端との距離1,200mm以上 |

※2） 居室の部分の床の段差許容要件

位置：介助用車いすの移動の妨げとならない

面積：①3m²以上9m²（当該居室18m²以下の場合は当該面積の1/2）未満
②当該面積部分の合計が当該居室面積の1/2未満

辺：長辺1500mm以上（工事を伴わない撤去可）

その他：その他の部分の床より高い

※3） 以下に掲げるものはこの限りではありません。
玄関の出入口（勝手口を含む）の段差及び上がりかまちの段差、浴室の出入口の段差、バルコニーへの出入口の段差、室内又は室の部分の床とその他の部分の床の90mm以上の段差

20121001

等級3のチェックシートであることを確認します。

段差のない構造には、5mm 以下の段差が生じるものを含みます。

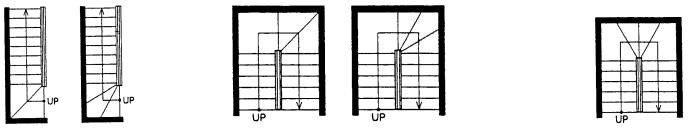
該当する項目全てに☑することが必要です。

一つの枠の中に2つ以上の□がある場合は、該当する仕様を1つ以上選択し、☑します。

玄関と脱衣室の手すりについては、設置されているか、手すりの下地補強がされていることを確認した場合は、☑します。

手すり子内法寸法は、床面及び腰壁等又は窓台等からの高さで800mm 以内の部分で110mm 以下であることを確認し、☑します。

各部の寸法は回り階段においては踏面の狭い方の端から30cm の位置における寸法とします。なお、右図に該当するケースは、この限りではありません。




| 90 度屈曲部分が下階の床から上3段以内で構成、踏面の狭い方の形状が全て 30 度以上 | 90 度屈曲部分が踊り場から上3段以内で構成、踏面の狭い方の形状が全て 30 度以上 | 180 度屈曲部分が4段で構成、踏面の狭い方の形状が下から 60 度、30 度、30 度、60 度 |
|---|---|---|

機構承認住宅（設計登録タイプ）の場合、本工事内容確認チェックシートの提出は不要